

~第2章~ 愛-Love☆日高!



残登校日

9!!

2021年2月15日
No.36

日高へおかえり〜、わが3年生! 日高日高日高日高 卒業前に「超変則」な流れとなりましたが、 残り僅か2週の高校生活を満喫しよう!!

新年幕開けで「さあ、残りの学校生活へ」と思っていたのも束の間、周知の通りのコロナ対策で「家庭学習期間」が前倒しとなり、昨日まで超長〜〜〜い(12/22~2/14の実に「55日間」!)冬休みという形になってしまいました…。この期間受験に挑んだ人、高校最後の大会に臨んだ人等もいましたが、それぞれ充実した期間を過ごせましたか? 待望の卒業式までいよいよ「2週間」。本州からの帰還後につきコロナ感染リスクを最小限に抑えながら、再々度様々な制約下での生活とはなりますが、残り僅かの「日高生活」をともに満喫していきましょう(「目の前がスキー場」という環境下での生活: 今後二度と無い!? も、本当にあと少しだよ!!)。

この休み中に担任は、「大きな宿題」だった「卒アル」を(大会・合宿遠征先でもコツコツと作業を進めて…(^_^)v)完成させ、業者への発注も済ませ、胸をホッと一撫でしていただくところです。皆さんの「3年間の足跡&成長」に目を細めながらの日々でした。新型コロナ禍の最中ですが、高校のゴールはすぐそこです。『事故なく、怪我なく』、『笑顔と感動の卒業式』までいざ進んでいきましょう(^)/!

今週の「愛」の格言

『自分を愛せる人間が他人をも愛せる。』

by 五木 寛之 (1932-)について

現代を代表する福岡県八女郡出身の小説家、随筆家であり、高橋健一が最も敬愛する作家である。代表作は、自らの出身地・福岡を舞台とした超大作「青春の門シリーズ」他、デビュー作の「さらばモスクワ愚連隊」、直木賞受賞作の「蒼ざめた馬を見よ」、新聞朝刊連載にもなった大作「親鸞シリーズ」、「大河の一滴」など多数。

五木さんは上述の「親鸞」ほか「TARIKI」、「蓮如物語」という小説を書くほど、仏教あるいは浄土真宗に明るい方ですが(5~6年前に旭川で生講演を聞かせていただきましたが、心温まる素晴らしいお話しで感動…!)、終戦当時、朝鮮半島の「北朝鮮側」に取り残された五木さん一家<五木さんの父親は平壤の学校の先生でしたが、愛妻(五木さんの母)を戦後の騒動で亡くし、茫然自失に…>が、祖国の地を目指し北朝鮮に取り残された他の日本人とともに「38度線」を命からがら南下した際、「優しい人・正直な人からどんどん先に亡くなっていく」光景を目の当たりにし、「生き残った自分は悪人」だと思い、「人生とは一体何なのか」を深く考えるようになったそうです。当時中学生だった五木さん自身、小さな弟・妹を抱えての山行がどうしても困難となり、途中の村で愛する弟を「置き去りにして(見捨てて)」しまった(その先で退路を余儀なくされ、たまたまその村に戻ったところ、まだその場所に弟がいたので偶然再会でき、「今後どんなことがあっても置き去りにしない」と誓いつつも、自らの過ちを大いに恥じたそう…)ことへの自戒の念は一生涯忘れられないとのことでした。壮絶な人生を歩んでこられた五木さんの格言、胸に刻んでください!!

☆元志の志☆

◇みなさんがもし40歳までに結婚したいとするなら、約26歳までに出会いと別れを繰り返した後に会う、最高で最適の相手と結婚すると幸せな結婚ができるらしい。

これは「37%の法則」、或いは「秘書問題」とも呼ばれている。それはこんな内容だ。◆ある会社で秘書を採用する面接を100人に対して行うことになったが、採用・不採用はその場で決めなければならない。できるだけ優秀な秘書を選ぶには、最初の37人までは情報収集と基準作りのため採用せず、38人目から最適と思われる秘書を採用すると、最も成功率が高いというものだ。◇だから、26歳までは遊びなさい、とは言わないが、自分に合う相手はどんな人かを真剣に考えておくに越したことはないし、これは結婚に限ったことではなく、他の選択を迫られたときにも役立つぞ。ちなみに私がこれを知ったのは41歳を過ぎたころであった(合掌)。

保護者の皆様へ

今週もお疲れさまです！ コロナ禍の影響で大変お待たせいたしました。よ〜やく本日より、「3年生・3学期」が開始となりました。長期休業中のお子さまのご家庭における様子はいかがでしたか！？ なかには多少怠惰(のんびりした?)な生活ぶりが見られたかも知れませんが、あと2週間で卒業式を迎え、早い生徒で3月中旬から新生活のスタートが待ち受けており、もうのんびりしている場面ではありません。残り数日お子さまをお預かりしながら、高校最後の「叱咤激励」を重ねて参る所存ですので、応援の程よろしく願いいたしますm(_ _)m

さて上述の通り、私は休み期間中に卒業アルバムを作り終え(本校では伝統的に卒業担任が自らの手でアルバムを編集しています。アルバムで使う写真の主は生徒自らの手で選定させました(^_-))肩の荷を降ろしたところですが、1年次のかわいい顔つきから、徐々に「大人の」顔つきへと成長していく様子が手に取るように確認でき、この3年間を振り返る貴重な時間ともなりました。わが家の愚息・愚娘もそうでしたが、「高校卒業」は、お子さまにとって大きな転換点となるに違いありません。あと少し、応援させてください。コロナ禍は続きますが、3/1の再会を楽しみかつ心待ちにしております。

<残りの予定> ※最後の1仕事、「卒業考査」も控えています!!

2/15 月(本日) 3年生登校再開!!

2/18 木~19 金 卒業考査!

2/18 木:考査1日目 ①自習(英) ①数学Ⅱ ②英会話 ③日本史

2/19 金:考査2日目 ①自習(F) ①化学基 ②現代文 ③Fデザイン

☆ 2/25 木 予餞会、☆ 2/26 金 卒業式予行・同窓会入会式

☆ 3/1 卒業式(T T) 涙? 感動?? どちらも??? はてさて…

※卒業式までの登校日数は、残り「9日」。

きっと、「あっという間」! 日高の空気を沢山吸ってね!!

<1年生:夏>



<3年生:冬>

